令和3年5月20日

●編集 公益財団法人まちみらい千代田

〒101-0054 千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア4階 TEL3233-7555(代) FAX3233-7557 https://www.mm-chiyoda.or.jp

まちみらい千代田公式フェイスブック https://www.facebook.com/MMChiyoda

まちみらい千代田公式ツイッター https://twitter.com/MMChiyoda

第4回マンション管理講座開催

今回は水害対策をテーマとして取り上げます。なお、参加には 事前の申し込みが必要です。



時 6月9日(水)18時30分~20時30分(予定)

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止または時間短縮となる場合があります。

場 ちよだプラットフォームスクウェア5階会議室(千代田区神田錦町3-21) ■会

■講師 飯田勝啓(マンション管理士) ■受講料 無料

第 千代田区内マンションの居住者、所有者、管理組合役員 一对

■定 **員** 20名(先着順)

①氏名②住所③マンション名④電話番号を記載のうえ、お申し込みください。

> ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、マスクの着 用、会場入室時の手指の消毒、職員による検温にご協力をお願い します。

■問 合 せ 住宅まちづくりグループ ☎3233-3223



防災対策支援制度のご案内

まちみらい千代田では、マンションの防災対策促進のた め、各種支援を行っています。

- ■災害用資器材等購入費助成
- ■マンション防災計画等の策定支援
- ■マンションAED設置



支援を受けるためには、一定の要件を満たす必要があり ます。詳しくはまちみらい千代田のウェブサイトをご覧い ただくか、お問い合わせください。

■問 合 せ 住宅まちづくりグループ **☎**3233-3223 **FAX**3233-7557



AED

お知らせ

千代田区マンション連絡会 ~1年半ぶりに開催~

新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたマンション連絡会を開催します。



時 6月12日(土)14時~16時(予定) ※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止または時間短縮 となる場合があります。

場 千代田区役所4階401会議室(千代田区九段南1-2-1) ■会

■対 象 千代田区マンション連絡会会員(理事長または理事会でマン ションの代表者と認められた方) ※会員の方以外は参加できません。

●会員募集 マンション管理組合の皆さんによる情報交換や行政等か らの情報提供のため、管理組合の理事長を対象に会員を募 集しています。入会希望の方はお問い合わせください。

■申 込 み ☎3233-3223 FAX3233-7557

①氏名②住所③マンション名④電話番号を記載のうえ、 お申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、マス

クの着用、会場入室時の手指 の消毒、職員による検温にご 協力をお願いします。

■問合せ 住宅まちづくりグループ

☎3233-3223





自主的なまちづくり活動を応援する 七田まちづくりサポート|

応募相談受付中

千代田まちづくりサポート(まちサポ)は、千代田区を活気ある、住 み良い魅力的なまちにしようと市民レベルでがんばっているまちづ くり活動やこれから始めようとするまちづくり活動を支援しています。

現在、第21回の活動を募集しています。募集概要を記載した「応募の手引き」と「応募用紙」 をまちみらい千代田ウェブサイトに掲載しています。皆さんの応募をお待ちしています ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンラインでの開催となる場合があります。

■問合せ 協働まちづくり・総務グループ ☎3233-7556

応募相談(必須)

5月10日(月)~28日(金)応募にあたっての質問・相談を受け付けます。 場所:公益財団法人まちみらい千代田 窓口 時間:要電話予約

応募受付

5月17日(月)~6月18日(金)所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、 メールにてご提出ください。 **提出先:**machisapo@mm-chiyoda.or.jp

公開審查会

7月18日(日)9:00~17:00(予定)応募内容の発表後に 助成の可否・助成額を決定します。なお、はじめて部門は書 類審査で助成の可否を決定します。 場所: ちよだプラット フォームスクウェア5階 ★YouTubeでライブ配信予定

助成金交付

8月上旬(予定)



第20回千代田まちづくり サポート活動成果発表会



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、Zoom を活用してオンライン形式で開催しました。

◇活動成果発表(一般部門・はじめて部門)

助成グループから1年間の活 動の成果について発表がありま した。

すべてのグループの発表後、審 査会委員および助成グループが 投票を行い、第20回のサポート 大賞に「江戸長唄ごひいき衆」が 選ばれました。

◇普請部門年度報告(普請部門)

過去に助成を受けた3グルー

プから、現在の活動状況等について報告がありました。

各グループの活動内容等はまちみらい 千代田ウェブサイトで公開しています。

■問合せ 協働まちづくり・総務グループ

23233-7556





イベント



ちよだいちばのイベント情報

☆6月月間ご当地まつり☆

新潟県糸魚川市 5月31日(月)~6月25日(金)

糸魚川市(人口約4万1千人)は、新潟県の最西端に位置し、南は長野 県、西は富山県に接しています。中部山岳国立公園、上信越高原国立公園、 親不知子不知県立自然公園のほか、温泉、塩の道など豊かな自然に恵ま れた地域です。このように優れた自然遺産が数多くあるため、ユネスコ から「世界ジオパーク」として日本で初めて認定を受けました。

産業は漁業が中心で、一年を通じて多種多様な魚が水揚げされます。 その中でもホタルイカ、あまえび、メギス、真鯛、あんこうがよく知られ ています。さらに、茄子の銘品「越の丸茄子」は全国から注文が殺到する ほど人気があります。果肉がしっかりとしていて甘みがあり、形も美し い銘品です。

6月月間ご当地まつりの開催期間中は、ご当地食材を盛り込んだ「糸 魚川ご当地ランチ」を提供予定です。どうぞお楽しみに。















■問合せ ちよだいちば

(千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア1階) ☆&FAX 5577-3846 ※午前中の電話対応はできません。





千代田ビジネス大賞歴代受賞企業

第2回大賞受賞 企業名:株式会社ポポンデッタ 代表取締役:太田和伸 鉄道模型・ジオラマ製造販売

千代田ビジネス大賞受賞後からの飛躍!!

平成11年に創業し、平成21年度千代田ビジネス大賞受賞時は10店舗でしたが、 現在はショッピングモールを中心に48店舗を運営しています。出店依頼が絶えな い中で、店長となる人材の育成も進めながら、しっかりとした足取りで経営判断を 行ってきた結果と言えます。

税理士でもある太田社長は、コロナ禍においても早い段階で資金調達をし、営業 自粛を余儀なくされた昨年の緊急事態宣言期間を乗り越えました。

人材育成という課題への取り組み

同社は会社の規模が大きくなるにつれ、何度か人材育成の課 題にぶつかりました。そこで、人材開発部門を立ち上げて採用 から店長候補の育成まで一貫して取り組む体制を構築してい ます。また、鉄道模型店というと鉄道についての知識を重視す ることが多いのですが、同社では接客を重視し、アパレル業界 出身者など接客業の経験者も活躍しています。



自社商品の開発

受賞当時にはまだなかった自社商品開発にも取り組み、「はやぶさ」「こまち」「ドクター イエロー」のTシャツをはじめ、ウルトラマンとのコラボ商品の販売も行っています。

そして、構想から5年をかけた木製のオリジナル鉄道模型「moku TRAIN」を平 成30年冬に商品化しました。開発にあたっては鉄道会社の監修や厳しい要求に応 え、工場の選定に苦心しながらの商品化でした。

この木製鉄道玩具には、会社の理念である「鉄道模型のもつ楽しさをより多くの 人にお届けし、鉄道模型の力で人と人とのコミュニケーションを活発化する」とい

う思いが込められています。小さな子どもた ちに安全な鉄道模型の良さに触れてもらう ための取り組みでした。

現在では、粗利の1/4を自社開発商品が占 めるまでになり、改めて、太田社長の鉄道模 型に対する思いと、その思いに集まった人と ともに同社が成長していることを感じました。



連載

コロナ禍における事業承継

中小企業診断士 柳 義久

がんばる中小企業 応援リレーコラム



事業承継は喫緊の課題

筆者は2014年から中小企業者の事業承継支援に携わってきました。

中小企業経営者の高齢化が進む中、事業承継が進展せず、このまま放置する と意図しない廃業に追い込まれ、多くの経営資産が失われる可能性があります。 我が国経済の活性化のためにも中小企業の事業承継は喫緊の課題となっている のです。

こうした事情を憂慮して国も自治体も課題解決に向けて、法整備や多額の予 算を投じ、事業承継支援を行っています。支援の効果もあり、少しずつ事業承継 が進みつつありました。

ところが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により飲食業、旅行業、 小売業など幅広い産業で大幅な売り上げ減少が発生し、経営が厳しくなり、事業 承継はストップしてしまった感があります。

しかしながら、若い世代への事業承継が企業業績にプラスに働くことが分かっ ていますので、事業承継や経営資源の引き継ぎを止めるべきではありません。

コロナ禍の今こそ、次世代へ経営のバトンタッチを!

コロナ禍の影響ばかりではなく、デジタル化やグローバル化の進展、進む人口 減少など、右肩上がりの経済を経験してきた現経営者にこうした環境変化への 対応は可能でしょうか?

激変する環境変化に対して対応力が優れているのはいつの時代も若い世代 です。

2018年版小規模企業白書によると、事業を承継した経営者と承継していない 60歳以上の経営者について、直近3年間の経常利益額の動向を比較したところ、 「増加傾向」と回答した割合が、事業を承継した事業者のほうが事業承継をして いない事業者を上回っています。

また、経営者が若返ることによる事業拡大意欲に関連する指標として、売上高、 総資産、総資産利益率(ROA)、従業員数を取り上げ、事業承継した企業と承継し ていない企業の間で成長率比較をしていますが、比較の結果は、すべての指標で 事業承継した企業の成長率が高く、統計的には有意な差が確認されています。

ウェブサイト掲載の全文では、コロナ禍でも事業承継を進めることの必要性、 事業承継の全体像と事業承継支援策の利活用について紹介しています。

雨からあなたを守る91年の歴史 レインウエア・防水製品専門メーカ・

株式会社トキフ

告



検索



【お問合せ】電話:03-3288-1921(月~金 9:00~17:30)